基幹病院、あるいは連携施設より開始し、1 年ごとに移動する。なおそれぞれのパターンにおいて下に移動することは一年の期間を意味する。本プログラムは都市群の病院のみならず人口減少地域の病院も存在している。また、専門性の高い治療法を学ぶことも可能である。このため地域性や専門性に縛られない柔軟なローテーション選択が可能である。希望によっては 2 年間同じ病院に勤務することも可能である。

連携施設に含まれる病院は、藍野花園病院、赤穂仁泉病院、小曽根病院、新阿武山病院、新淡路病院、新生会病院、瀬田川病院、丹比荘病院、ねや川サナトリウム、阪南病院、藍野病院、稲田クリニック、水間病院、金岡中央病院、福岡大学病院、いわくら病院、長岡病院の 17 施設である。